



日本共産党の市政報告会 町方コミュニティと勝幡コミュニティで行う

日本共産党愛西市委員会は、3月28日(土)町方コミュニティセンターで、4月5日(日)勝幡コミュニティセンターで市政報告会を行い、延べ50名の参加がありました。

道の駅の維持管理費は 毎年2億3000万円

最初に真野和久市議が愛西市議会の報告を行いました。



愛西市の財政は50億円をかけて道の駅(ハSUパーク)

をつくったために、建設費の返済と指定管理費で毎年2億3000万円が必要になった。これまでは運営協議会の収益で費用は必要なかった。

さらに市の基金126億円の運用で債権を購入したため40億円の損失が出ているため使える基金は38億円になっていることを説明しました。

コミュニティセンターや 体育館など公共施設の廃止

市は財政問題を理由に、令和8年度

町方コミュニティと勝幡コミュニティで行う



予算で、福祉予算の削減、側溝や舗装の予算の削減、国民健康保険税や保育料の投げで3億円の市民負担を求めること。さらに17の公共施設の廃止計画があることを説明しました。

○庁舎関係は2つ。

八開庁舎と永和公民館。

○福祉施設は3つ

八開総合福祉センター、佐屋老人憩の家、藤浪老人憩の家。

○体育館は2つ

佐織体育館と立田体育館

○コミュニティセンターは10カ所

市江地区コミュニティセンター

西保地区防災コミュニティセンター

永和地区防災コミュニティセンター

立田北部地区防災コミュニティセンター

立田南部地区防災コミュニティセンター

藤浪地区防災コミュニティセンター

勝幡地区防災コミュニティセンター

町方地区防災コミュニティセンター

草平地域防災コミュニティセンター

川淵地域防災コミュニティセンター

コミュニティセンターは、地域 コミュニティと防災の拠点施設

真野議員は、八木市長時代には永和と西保にコミュニティセンターをつくり、防災とまちづくりの拠点と整備し

てきたが、日永市長になり「選択と集中」の方針で、道の駅など大型事業をすすめて、そのしわ寄せを市民に押し付ける国や県いなるの市政になっていると訴えました。

コミュニティセンターを残す

共産党市政報告



次にふるかわ智康愛西市政策委員長が報告しました。一つ目は、家が貧しかったので奨学金をもらって学校に通った経験から、お金がないから学べない子どもは無くしていく。愛西市では学校給食の完無無償化を求めて行くとのべました。

二つ目は、現役の消防団員であり、市民の命を守り、災害に強い愛西市にしていくためにも防災コミュニティセンターを残すためにがんばって行く決意を述べました。

最後に、浜本後援会長が「かとう敏彦元市議とまの和久市議からふるかわ智康さんが引き継ぐので、共産党は大丈夫でしょうと言われるが、引き継ぎは大変難しいことで、共産党の2議席を確保するために、ぜひ支持を広げていただきたい」と訴えました。

出発式のご案内

4月19日(日)9時30分

佐屋共同センター

(須依町北前2361-1)

<弁士>
もとむら伸子前衆院議員
河合かっぺい愛西市議



4月19日(日)10時

名鉄勝幡駅南口

<弁士>
まの和久愛西市議
ふるかわ智康
愛西市政策委員長
もとむら伸子前衆院議員



市営のコミュニティセンター存続の署名にご協力下さい